



情報誌

F A R

72号

事務局：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東錦屋町167 ビューフォート五条烏丸3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556 / <http://www.jsrt.or.jp>. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

2025年問題と FAR会

会長 藤田 透



「20世紀から21世紀に」と騒がれたのは少しだけ前のように感じのですが、既に2025年、四半世紀が過ぎることになります。今年は昭和100年とも言われますが、昭和・平成・令和と時代はドンドン進んでいきます。光陰矢の如しとは言いますが、本当に1年の過ぎるのが早いと感じるこの頃です、皆さまはいかがお過ごしでしょうか？

昨年は「2024年問題」と騒がれ、働き方改革により運送業・建設業・医師の長時間労働が制限されることから物流・地域医療への影響が懸念されていました。そして今年は「2025年問題」がクローズアップされ、団塊の世代（昭和22年～昭和24年生まれ）が全て後期高齢者となり超高齢者社会になったことが問題視されています（私は昭和22年生まれで、受験・就職・退職等の節目節目でまさに団塊世代と言われ続けてきました）。75歳以上の後期高齢者は約2,200万人（団塊世代の3年間だけで約800万人）で国民の5人に一人、65歳以上の高齢者は3人に一人の割合になるそうです。少子化問題と相まって、今後の大きな社会問題となっているようです。

具体的には、超高齢化社会を迎えることで雇用、医療、福祉といった日本経済や社会の広い領域に深刻な影響を及ぼすことから、①年金や医療保険、介護保険、生活保護などの社会保障制度を維持するために国が支出する「社会保障費の負担増大」、②医療や介護サービスの需要が高くなることで充分な人材の確保が追いつかなくなる「医療・介護体制維持の困難化」、③多くの企業が人手不足に陥るなかで売り手市場化が進行していくことで生じる「労働力の不足」の3点が問題視されています。これらを解消するための根本的な方策はなかなか見えてきません。

一方、私たちの FAR会に目を向けてみると会員数増とはいきません。昨年、いくつかの方策を打って4名の新入会者をお迎えしましたが、5名の退会者という結果になりました。2001年4月に創立した FAR会ですが、今年で25年目を向かえました。最近では JSRT 代表理事を始めとした現役執行部や大会長・実行委員長も多く参加いただけるのはありがたく、大会長・実行委員長経験者、JIRA関係者、そして日頃顔を会わすことも多くない事務局の皆さんのが同席して情報交換ができるることは、意義深く貴重な機会になっていると喜んでいます。FAR会をお預かりして3年、残された任期を FAR会の発展に尽力したいと思っています。

今秋の第53回秋季学術大会は蝶野大樹大会長により11年ぶりの札幌市での開催となっています。FAR会としても小笠原克彦先生のお世話で「2025秋季懇親の夕べ」を「すすきの天然温泉・湯香郷」にて開催しますので、多くの皆様とお会いできますようご参加をお待ちしています。10月17日(金)、札幌でお会いしましょう。

内 容

- | | | |
|---------------------|------|-------|
| 1. ごあいさつ | 会 長 | 藤田 透 |
| 2. 2025年 FAR懇親の夕べ報告 | 代表幹事 | 平野浩志 |
| 3. 2025年 秋の FAR会案内 | 代表幹事 | 小笠原克彦 |
| 4. 会からのお知らせ | | |
| 5. 2024年度事業報告 | | |
| 6. 2025年度事業計画 | | |
| 7. JSRT情報 | | |
| 8. 編集の小窓 | | |

~~~~~  
《2025年 FAR 懇親の夕べ》報告

2025年 FAR会懇親の夕べ 報告

代表幹事 平野浩志

2025年4月12日（土）19:00～21:45

横浜 馬車道 生香園 新館 5F

藤田 透、神澤良明、小水 満、森 克彦、内山幸男、前田幸一、本間龍夫、  
森 雅嗣、草山泰子、佐藤幸光、江島光弘、小川 清、小笠原克彦、白石順二、  
小寺吉衛、船橋正夫、石田隆行、奥田保男、根岸 徹、隅田博臣、西出裕子、  
岩永秀幸、川田秀道、梁川範幸、錦 成郎、北川千秋、宇高小波、信田絵美、  
平野浩志（代表幹事）  
参加者 29名（敬称略）

FAR会 2025 懇親の夕べにご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

JSRT の定期総会が長引いたことで、集合が分散化したため、神澤先生にはその都度、乾杯のご発声をお願いしました。全員が集まったところで、藤田会長にご挨拶を頂き、最初の乾杯から1時間以上経過の5回目の乾杯は、程良い酔いもあって絶好調の乾杯となりました。昨年と同様、美味しい料理とお酒（紹興酒）に満喫、私はアワビが最高でした。楽しい会話に時間の経つのも忘れ、お店のご好意で時間を延長したにも関わらず、あっという間にお開きを迎え、第81回 JSRT 総会学術大会の岩永大大会長にご挨拶いただき、次回秋の FAR 会代表幹事の小笠原先生、引き続き来年の 2026 懇親の夕べ代表幹事の小川先生にご挨拶頂いて、本大会の川田実行委員長に中締めを頂いて、来年秋の、群馬での FAR 会代表幹事の梁川先生に一言、最後に全員で笑顔の集合写真を撮影して、皆様のご健勝と次回の再会を約束して解散となりました。

生香園・新館には昨年8月末に仮予約（料理、飲み放題、サービス料、税金込々1万円）

FAR会のメンバーは、酒豪ぞろいですので飲み放題は必須だと思いました。

2025年4月12日「FAR 懇親の夕べ」  
於：生香園・新館（横浜馬車道）



~~~~~

《2025年 秋のFAR会》案内

Boys, be ambitious like this FAR man ~ FAR会秋季懇親の夕べ in 札幌のお誘い ~

代表幹事 小笠原克彦

FAR会の諸先生方、お元気にお過ごしでしょうか。FAR会最年少の北海道大学の小笠原です。

先生方も Boys, be ambitious という言葉は耳にしたことがあるかと思います。このフレーズは北海道大学の前身である札幌農学校の初代校長ウィリアム・スミス・クラーク博士が札幌農学校を離任する際に札幌から少し南にある島松駅通所で見送りに来た学生たちに馬の上からかけた言葉で、北海道大学のフレーズとなっています。Boys, be ambitious というフレーズだけが独り歩きしていますが、実はこのフレーズのあとに like this old man が続いています。Boys, be ambitious like this old man. (少年よこの老人のように大志を抱け)。まさに、このフレーズは、FAR会にもあてはまるのではないかと感じています。

JSRTs, be ambitious like this FAR man.

今回、札幌にて開催される第53回日本放射線技術学会秋季学術大会の秋季大会テーマは「知空青～井の中の蛙大海を知らず、されど空の青さを知る～」です。私たちも現役時代には放射線技術に関わる目の前の臨床と研究の課題に精一杯取り組み、「井の中の蛙」であったかもしれません。しかし、そのおかげで私たちには、空の青さのように、自分たちが追い求めてきた放射線技術への深い情熱と誇りがあるのではないかと感じています。今回のFAR会では、様々な立場で放射線技術を紹いできた私たちが共に語らい、昔を懐かしみながら互いに「青さ」を分かち合えればと思っております。

今回、北日本最大の歓楽街すすきのにある「すすきの天然温泉」にて、秋の北海道を感じて頂ける贅沢な癒しの時間を用意させて頂きました。ゆったりと湯に浸かって頂き、懇親会ではかつて共に放射線技術の発展に情熱を注いだ旧友と心ゆくまで語り合える、またとない機会となれば幹事としてとても嬉しく思います。札幌で皆様のお元気な姿を拝見させて頂きたく、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

記

2025年度 FAR会秋季懇親の夕べ in 札幌（すすきの温泉）

■ 日 時 10月17日（金） 18:00～21:00

※集合写真撮影 17:40 ホテル玄関に集合

■ 場 所 すすきの天然温泉・湯香郷／ジャスマックプラザホテル

<https://www.toukakyo.jp/>

札幌駅からのアクセス方法

- ・地下鉄南北線「すすきの」駅 3番/4番出口より徒歩5分
- ・地下鉄南北線「中島公園」駅 1番/2番出口より徒歩3分
- ・地下鉄東豊線「豊水すすきの」駅 6番/7番出口より徒歩2分
- ・タクシー 札幌駅南口タクシー乗り場より約10分

■ 費 用 ご宿泊者(宿泊+懇親会費) お一人様

一室1人 27,500円(税込)+入湯税150円

一室2人 21,500円(税込)+入湯税150円

日帰り者(懇親会のみ) お一人様 10,000円(税込)※ 温泉利用:別途 1,100円

宿泊の代金は、個別にチェックアウト時にご精算ください。懇親会費用 10,000円(税込)は事前に集金いたします。

■ 連泊対応(別途入湯税 150円)

前泊 10/16 (木) : 一室 1 名 13,000 円、一室 2 名 11,000 円
後泊 10/18 (土) : 一室 1 名 16,000 円、一室 2 名 13,000 円
宿泊は季節柄とても込み合っており、相部屋をお願いすることもありますので、予めご了承ください（特に 10 月 18 日）。

■ 連絡先 小笠原克彦 oga@hs.hokudai.ac.jp 携帯: 090-2690-0032

以上

《会からのお知らせ》

会員状況

会員状況（2025 年 3 月 31 日現在） 会員数：84 名（内 名誉会員 17 名）

(1) 2024 年度 入会者

根岸 徹（2024 年 4 月 20 日入会）
塚本篤子（2024 年 5 月 7 日入会）
土井 司（2024 年 7 月 18 日入会）



(2) 2024 年度 退会者

真田 茂（2024 年 6 月 20 日逝去）
雄川恭行（2024 年 10 月 1 日逝去）
柴田崇行（2024 年 10 月 3 日逝去）
木内繁夫（2024 年 10 月 16 日逝去）
久保昌博（2025 年 1 月 9 日自己退会）

(3) 名誉会員の推戴

規約第 4 条「名誉会員」（会員であつて、5 年以上在籍で米寿（数え歳 88 歳）を過ぎた者で、終身とする。）の定めに基づき下記 3 名の方に推戴状を送付した。

（2025 年 1 月 1 日付）

鹿沼成美、山 哲男、若松孝司 （参考）2025 年 1 月 1 日現在 88 歳（数え年）

会員住所並びにメールアドレス更新のお願い

個人情報保護の観点から現在は会員名簿の全員配布は中止致しております。

そのためか最近連絡の取れない会員がおられます。そこで今回住所並びにメールアドレスを再登録いただき正確な名簿を作成することにいたします。

下記のいずれかの方法で再登録更新をお願いいたします。氏名・住所・メールアドレスを記入してご連絡お願いいたします。

(1) 総務委員・草山泰子宛にメールする kusaya@ceres.ocn.ne.jp

(2) JSRT 事務局 FAX 075-352-2556 メールアドレスを登録されておられない方はこちらの選択をお願い致します。

《2024 年度事業報告》

(1) 会議関係

① 2024 年度第 1 回世話人会の開催

日 時：2024 年 4 月 13 日（土）15:30～16:30

場 所：パシフィコ横浜会議センター 423 会議室

出席者：15 名

議 題：事務局報告、事業報告、世話人の交代、情報誌、事業計画等

② 2024 年度第 2 回世話人会の開催

2024 年度 秋季学術大会の開催地が沖縄であり宿泊、交通を考慮して、2024 年度（上半期）の報告、議題等はメール文書による持ち回りとすることとなった。

メール会議は10月1日に議案書配達、10月15日までに承諾を得ることとした。

議題：事務局報告、事業報告、情報誌、事業計画等

③ 2024年度第2回 運営委員会・総務委員会合同委員会

日時：2025年1月15日（水）15:30～17:00

場所：JSRT事務局会議室

議題：2025年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の計画、FAR会運営委員会について検討等

出席者：藤田透、錦成郎、森克彦、神澤良明、小水満、草山泰子 以上6名

(2) 懇親会関係

① 2024年度 春季懇親のタベ（代表幹事：江島光弘）

日時：2024年4月13日（土）19:00～21:00

場所：生香園 新館（横浜市中区太田町 5-56 TEL045-681-4121）

会費：10,000円

参加者：25名

② 2024年度 秋季懇親のタベ（代表幹事：藤田透、幹事：小水満）

日時：2024年11月1日（金）18:00～20:00

場所：『おもろ殿内（おもろどうんち）那霸新都心店』

会費：6,000円

参加者：20名

(3) 情報誌関係

2024年度 情報誌・発刊報告

1. 情報誌第69号を2024年5月15日に全12頁で発行した。

2. 情報誌第70号を2024年9月15日に全8頁で発行した。

3. 情報誌第71号を2025年1月15日に全12頁で発行した。



(4) 会計報告

2024年度収支計算書（2024年4月1日～2025年3月31日）

収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
前 年 度 繰 越	1,135,376	1,135,376	
年 度 会 費	134,000	140,000	70名分 会員数：84名（内 名誉会員17名）
新 入 会 分	10,000	6,000	新入会：3名 (根岸徹、塚本篤子、土井司)
寄 付 金	30,000	10,000	代表理事祝金：10,000円×1回
広 告 料	0	0	
懇 親 会 費	500,000	370,000	春のタベ：250,000円、 秋のタベ：120,000円
雑収入（利子等）	10,000	8,033	物故者次年度以降会費8,000円 銀行利子4/1：1円、10/1：32円
合 計	1,819,376	1,669,409	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
情 報 誌 作 成 費	30,000	30,000	情報誌 69 号、70 号、71 号編集費
懇 親 会 経 費	500,000	340,000	春の夕べ：220,000 円、 秋の夕べ：120,000 円
会 議 費	30,000	0	
運 営 旅 費	50,000	47,120	情報誌 69 号、70 号、71 号 発送作業に係る交通費
通 信 郵 送 費	70,000	45,988	メーリングリスト年会費 (5,500 円) 情報誌 69 号、70 号、71 号 発送作業に係る発送費
事 務 用 品 費	60,000	28,534	情報誌 69 号、70 号、71 号 印刷代、用紙代等 勧誘ポスター (50 枚) 4,990 円 封筒 600 枚 : 11,570 円
新 規 事 業 費	10,000	0	
雑 費	5,000	4,290	メーリングリスト振替手数料、 会費振込手数料
(払込手数料等)	5,000	2,214	弔電 (雄川恭行名誉会員)
次 年 度 繰 越 金	1,059,376	1,171,263	
合 計	1,819,376	1,669,409	

会計監査報告

FAR 会会計監査報告書

FAR 会会長 藤田 透 殿

2025 年 3 月 4 日

FAR 会会計監査 前田幸一

FAR 会の 2024 年度会計監査について下記のように報告いたします。

記

私前田幸一は 2024 年度収支計算書・会費納入台帳・預金通帳・振替貯金・現金出納帳及び領収書などの提出を受け、詳細に精査しました。

収入項目及び金額・支出項目及び金額など記載に間違いなく管理されていることを報告いたします。

以上

《2025 年度事業計画》

2025 年度 第 1 回世話人会 議事報告

日 時： 2025 年 4 月 12 日 (土) 15:00～17:00

場 所： パシフィコ横浜会議センター 422 会議室

出席者： 江島光弘、草山泰子、隅田博臣、今井方丈、小笠原克彦、小水 満、錦 成郎、
本間龍夫、小川 清、前田幸一、内山幸男、神澤良明、佐藤幸光、平野浩志、

森 克彦、藤田 透
以上 16 名 議長：藤田 透、記録：神澤良明

2025 年度事業計画は提案通り全て承認された。

《内 容》

1) 会議関係

① 2025 年度 第 1 回世話人会の開催

日 時： 2025 年 4 月 12 日（土）15:00～17:00
場 所： パシフィコ横浜会議センター 422 会議室



② 2025 年度 第 2 回世話人会の開催

日 時： 2025 年 10 月 17 日（金）15:00～17:00
場 所： 札幌コンベンションセンター（会場は未定）

③ 2025 年度運営委員会・総務委員会合同委員会の開催

運営委員会は総務委員会と合同で 2026 年 1 月中旬に京都市で行う。

2) 懇親会関係

① 2025 年度 春季懇親の夕べ（代表幹事：平野浩志）の開催

日 時： 2025 年 4 月 12 日（土）19:00～21:00
場 所： 生香園 新館（横浜市中区太田町 5-56 TEL045-681-4121）
会 費： 10,000 円（申込締切り：2025 年 2 月 28 日）

② 2025 年度 秋季懇親の夕べ（代表幹事：小笠原克彦）の開催

小笠原克彦代表幹事より宴会料理のグレードアップの提案があり 10,000 円とすることとした。宿泊料金については価格変動が考えられるため、後日詳細を詰めて改めて案内する。

日 時： 2025 年 10 月 17 日（金）18:00～21:00
場 所： すすきの天然温泉・湯香郷/ジャスマック・プラザ・ホテル
価 格： 詳細は後日、宴会のみ 10,000 円

3) 情報誌関係

2025 年度 情報誌発行計画

① 情報誌第 72 号を 2025 年 5 月 15 日発行予定

* 原稿締め切り予定：2025 年 4 月 15 日

② 情報誌第 73 号を 2025 年 9 月 15 日発行予定

* 原稿締め切り予定：2025 年 8 月 15 日

③ 情報誌第 74 号を 2026 年 1 月 15 日発行予定

* 原稿締め切り予定：2025 年 12 月 15 日

4) その他

1) 「FAR 会の運営に関する細則（1）具体的な事項」の一部改訂について

3. 運営委員会

2) 運営委員会は年 2 回、原則として春・秋世話人会の中間月に開催する。・・・・

上記の下線部分を改訂し

3. 運営委員会

2) 運営委員会は年 1 回以上開催する。・・・・と改訂する。

細則の一部改訂：令和 7 年（2025 年）4 月 12 日、即日施行

2) 世話人の交代

現世話人の任期は 2026 年 3 月末であるので、2026 年度からの世話人を 2025 年度内に選考する必要がある。このことから退任を希望する世話人は藤田会長に 4 月末日までに申し出ることとした。

3) 新入会員加入策について

昨年に引き続き FAR 会の趣旨を説明し入会を促すこと。

4) 「懇親の夕べ」代表幹事の選考

2026 年度懇親の夕べ 代表幹事：小川 清

2026 年度秋季懇親の夕べ 代表幹事：梁川範幸

5) メーリングリスト担当の草山副会長より、メールアドレスに変更があった場合は、速やかに連絡してほしいとの要請があった。《草山泰子：kusaya@ceres.ocn.ne.jp》

2025 年度収支予算書（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

収入の部

科 目	前年度予算額	予 算 額	備 考
前 年 度 繰 越	1,135,376	1,171,263	
年 度 会 費	134,000	134,000	67 名 (会員数:84名、内 名誉会員:17名)
新 入 会 分	10,000	10,000	5名
寄 付 金	30,000	30,000	
広 告 料	0	0	
懇 親 会 費	500,000	500,000	春の夕べ 250,000、秋の夕べ 250,000
雑収入（利子等）	10,000	10,000	
合 計	1,819,376	1,855,263	

支出の部

科 目	前年度予算額	予 算 額	備 考
情 報 誌 作 成 費	30,000	30,000	情報誌 72 号、73 号、74 号編集費
懇 親 会 経 費	500,000	500,000	春・秋 各々 25 名
会 議 費	30,000	30,000	
運 営 旅 費	50,000	50,000	情報誌 72 号、73 号、74 号発送作業に係る交通費
通 信 郵 送 費	70,000	70,000	メーリングリスト年会費、手数料、情報誌 72 号、73 号、74 号送料等
事 務 用 品 費	60,000	60,000	情報誌 72 号、73 号、74 号印刷代、用紙代等
新 規 事 業 費	10,000	10,000	

雜 費	5,000	5,000	
(払込手数料等)	5,000	5,000	
次 年 度 繰 越 金	1,059,376	1,135,263	
合 計	1,819,376	1,855,263	

2025 年度現世話人

石井 勉、今井方丈、上田克彦、内山幸男、江口陽一、江島光弘、小笠原克彦、小川 清、
神澤良明、漢那憲聖、草山泰子、小水 満、佐藤公悦、佐藤幸光、白石順二、隅田博臣、
錦 成郎、橋田昌弘、平野浩志、藤田 透、堀田勝平、本間龍夫、前田幸一、森 克彦、
梁川 功
以上 25 名

《JSRT 情報》

『第 53 回秋季学術大会』 大会テーマ：「井の中の蛙大海を知らず、されど空の青さを知る」

大会長：蝶野大樹（札幌医科大学附属病院）

会 期：2025 年 10 月 17 日（金）～19 日（日）

会 場：札幌コンベンションセンター



『第 82 回総会学術大会』 大会テーマ：「Radiology Connectome」

大会長：林 秀隆（国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構）

会 期：2026 年 4 月 16 日（木）～19 日（日）

会 場：パシフィコ横浜会議センター

《編集の小窓》

2025 年度 FAR 会情報誌 72 号をお届けいたします。作成につきましては多大なお力添えを賜り誠に有難うございます。引き続き今年度発刊予定の 73 号・74 号の編集へのご協力を、宜しくお願ひいたします。

それぞれの居住環境にもよるとは思いますが、最も身近な野鳥と言えば、すぐに思いつくのはスズメ、ハト、カラス、ツバメなどだと思います。中でもスズメは古くから、私たちの日常生活に様々ななかたちで関わりを持っている野鳥です。その活躍ぶりを見てみましょう。

平安時代中期の日本最古（長保 3 年（1001 年）頃の完成）の隨筆とされる清少納言の『枕草子』には「うつくしきもの（かわいらしいもの）」として登場しています。「うつくしきもの。瓜にかぎたるちごの顔。すずめの子の、ねず鳴きするに踊り来る。」（かわいらしいもの。瓜にかいてある幼い子どもの顔。すずめの子が、（人が）ねずみの鳴きまねをすると飛び跳ねてやって来る）

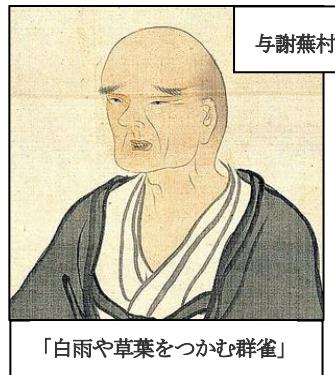
ここには、子スズメの可愛い情景が書かれています。



絵草子「舌切り雀」（江戸時代）

おとぎ話として知られる『舌切り雀』(鎌倉時代の日本の説話物語集『宇治拾遺物語』)などの民話にも、人の道を説く役割を担う主役級で扱われています。

俳句にも有名な俳人(江戸三大俳人:「松尾芭蕉」「与謝蕪村」「小林一茶」)たちが俳句の題材として、愛情や思いやりの気持ちを詠んでいます。



ほかに、上杉謙信の紋所の一つとされる紋の図柄に使われるなど、スズメが多くの家紋にも使われています。また、ふくらスズメのように、ふくらとふくらんだ様を食べ物に困らずに太ったスズメに見立てて、縁起の良いものとして扱われています。このようにスズメの活躍ぶりはたいしたものですね。



スズメは野鳥の分類上ではスズメ目(もく)に類し、現存している鳥類約10,400種の中で、半分以上の約6,200種がスズメ目に含まれていて、鳥類最大のグループとされています。スズメ目の特徴は、嶄(さえず)るための器官である鳴管(めいかん)が発達していることだそうです。スズメ目のグループに、ウグイス、メジロ、ヒバリ、カラス、ガビチョウなどの野鳥が含まれているのもうなづけます。

スズメの寿命については、一般的に様々な障害を受けながら育つスズメの寿命(生態的寿命)は2年程度、障害の少ない飼育されているスズメの寿命(生理的寿命)は15年とのデータもあります。



生息域はヨーロッパからアジアにかけて約30種類が生息していて、そのうちの2種類の「スズメ」と「ニュウナイスズメ」が日本で生息しています。一般的に民家の近くや公園などでよく見かけるのが「スズメ」と呼ばれている種類です。一方、あまり聞き慣れない「ニュウナイスズメ」は、「スズメ」とは別に、山の林や森の中などに生息しています。

平安時代に、日本先住の「ニュウナイスズメ」は国外から来た外来種の「スズメ」にそれまで生息していた民家の周辺から追い出され、人里離れた山間部で生息するようになったとされています。5月から7月の繁殖後は、関東地方より南の暖地で越冬する漂鳥になったということです。それであまり見かけないのかもしれません、「スズメ」の群れと一緒に行動することもあるそうです。私もまだ確認できていないので、これからは気を付けて見るようしたいと思います。

この2種のスズメの見分け方ですが「ニュウナイスズメ」は「スズメ」と違って、頬に黒い羽（斑）がないのが特徴です。また雄は頭や上背の色も赤茶色をしています。そのことから「黄雀（こうじやく、おうじやく、きすずめ）」とも呼ばれてもいるようです。日本語名の由来については「ニュウナイスズメ」は頬に「にふ（斑）」が無い雀から付けられたとの説もあるようです。

日本人のスズメとの関わりについては、農作物につく害虫を駆除してくれる益鳥とされるなど、長い共存の歴史がありますが、その存在をすべて手放しで愛でてきたわけではありません。農林水産省の令和2年度「全国の野生鳥獣による農作物被害状況」によると、被害面積は700ヘクタールで、農作物の被害が800ト



ンであったとしています。農作物中でも稻の被害が7割を超えていて、多くはスズメによるとされています。スズメは実った稻ばかりでなく、まだ稻が未成熟な時期からモミを噛んで胚乳を食べてしまいます。胚乳を食べられたモミは白いモミ殼になっています。

かつて京都の伏見稻荷大社に参拝した帰り道に、参道にあるお食事処でスズメの丸焼きのメニューを見かけました。野鳥を食する文化は日本には昔からあったようですが、今日ではほとんど見かけないスズメの丸焼きを、なぜ伏見稻荷大社の参道では提供しているのかについては、諸説あるようです。一説には稻荷神



社は五穀豊穣の神さまをお祀りする神社として信仰されていて、ここではその豊穣を願っている五穀を収穫前に食べてしまうスズメを、退治するために商いに取り入れたと言うことです。それでは五穀豊穣を妨げる「スズメ退治」のために丸焼きを食べようと思って注文してみましたが、その時はスズメの丸焼きはない

とのことで、食することはできませんでした。ただ、捕獲も飼育も許されない野鳥のスズメが、どうしてこのようなかたちで商われているのかについては、少し不思議な感じが残りました。



狩猟鳥獣から除外された バン



狩猟鳥獣から除外された ゴイサギ

狩猟免許証を取得することが条件ですが、日本の狩猟対象の鳥獣は、鳥類が 26 種、獣類が 20 種の計 46 種（令和 4 年 9 月から鳥類の 2 種（バン、ゴイサギ）が狩猟鳥獣から除外された。）と法律で定められています。鳥類の 26 種の中には、「スズメ」「ニュウナイスズメ」が狩猟鳥獣として含まれていました。スズメは法を守れば捕獲することも食することも可能となっていました。

猟期は北海道では、毎年 10 月 1 日から翌年 1 月 31 日まで（猟区内は、毎年 9 月 15 日から翌年 2 月末日まで）。それ以外の本州・四国・九州などの地域は、毎年 11 月 15 日から翌年 2 月 15 日まで（猟区内は、毎年 10 月 15 日から翌年 3 月 15 日まで）の期間の 3 か月間（猟区内は 5 か月間）と決められています。

現在では、鳥獣保護法の対象外で狩猟免許が不要で、届け出も必要でなく、だれでも捕獲や飼育？できるのはネズミ（日本には 18 種類が生息）の内ドブネズミ・クマネズミ・ハツカネズミだけです。

このように日本では、ほとんどの鳥獣は保護の対象になっています。それほど鳥獣の保護が重要視されるようになってきたのだと思います。

1949 年から 2022 年までの狩猟鳥獣の変遷（日本産野生生物目録環境庁編）によると、1949 年に鳥類は 46 種が狩猟の対象となっていたものが、現在は 28 種となって 43% も狩猟対象から除外（ヒシクイ、マガノ、アイサ類、ヤマドリ、ウズラ、ビロウドキンクロ（鴨）、コオリガモ、ジシギ、ワタリガラス、オオバン、バン、ゴイサギ、他）されています。

獣類では 17 種だったものが 20 種と増加しています。これはムササビ、リス、テンは急激な生息数の減少のため狩猟対象から外されたものの、外来種のチョウセンイタチ、シベリアイタチ、ハクビシン、アライグマ、ミンク、ヌートリアの 6 種が狩猟鳥獣に加えられたためです。近年、様々な外来種と言われる動植物の個体数の増加が目立ちます。

この 20 年間でスズメの生息数が大きく減少しているとの報告が、環境省と日本自然保護協会からありました。報告によると「評価対象の鳥類 106 種のうち 16 種が年間 3.6%（スズメ）～14.1%（オナガ）と急速に減少していく、これは絶滅危惧種の減少率に匹敵する」とされています。

減少の原因となるスズメの繁殖については、営巣の環境（人家など）に変化があることが挙げられています。1970 年代の住宅と 2000 年代の住宅で、スズメの巣の密度を比較すると巣の密度は、古い住宅地は新しい住宅地の 3.8～4.8 倍高く、このことから、住宅が新しくなったことで、スズメが巣をつくれなくなり、スズメの減少をもたらした可能性は大きいと考えられています。

絶滅危惧種が増加していることについては、生物多様性に危機的問題が生じているとも結論付けられています。

確かに現存の生物が地球環境に恩恵をもたらしていることや、その可能性を秘めていることを考えると、二度と復元できない種の絶滅はとても大きな損失をもたらすように思えます。スズメが「うつくしきもの」と表現され続け、おとぎ話の中だけの鳥になってしまわないように願っています。

江島光弘、記

FAR 情報誌 No. 72(非売品)

発 行 日 2025 年 5 月 15 日

発 行 者 藤 田 透

編集委員会

森 克彦 (委員長)

江口陽一 (委 員)

江島光弘 (々)

小川 清 (々)

山田和美 (顧 問)



連絡先

Tele. Faxed : 049-225-2619

Email : mokamokawh@gmail.com

mo-katsu@jt4.so-net.ne.jp